

和寒町字西和出身の

加藤大平選手

特集

ノルディック世界選手権で金

日本勢14年ぶりの快挙 ノルディック複合団体競技

チェコのリベツで行われたノルディックスキー世界選手権大会の複合団体競技のメンバーとして選抜され、見事世界一となった西和出身の加藤大平選手と喜びの声を紹介します。



平成19年4月に和寒町役場を訪れた加藤大平選手

金メダル獲得の快挙
2月26日チェコのリベツで行われたノルディックスキー世界選手権の複合団体競技で見事日本が世界一の座を14年ぶりに獲得しました。この日本代表選手の一人に選抜され活躍したのが、和寒町字西和で酪農を営む加藤邦雄さん、順子さんの次男「加藤大平さん」です。
日本は、前半のジャンプ競技（K点120m）で、加藤選手のK点を超える128mという大ジャンプが大きな貢献を果たし、5位につけ、

後半の距離で、日本勢の強さを見せつけ一気に逆転優勝するという、劇的な展開となりました。
翌日のテレビや新聞では、14年ぶりの金メダル獲得が大きく取り上げられ、その快挙に盛り上がりを見せるとともに、和寒町が加藤大平選手の出身地であることから、多くの問い合わせがあるなど、町内にも大きな喜びが広がりました。
金メダルに大きな喜び
加藤選手の大活躍を紹介したいと訪れた各新聞社の取材に対し、伊藤



役場庁舎に掲げられた懸垂幕



下川商業高校時代の加藤選手

町長は「金メダルという快挙をうれしく思う。町民の皆さんに明るい話題を提供してくれた。関係機関と協議し、健闘を讃える方法を検討したい」と喜びを伝えました。
また、早速お昼の防災無線でその快挙を伝えるとともに、役場庁舎及びスキー場入口に「感動をありがとう 祝金メダル 加藤大平選手」と書かれた懸垂幕を掲げ、その喜びを町民の皆さんに伝えました。



金メダルの快挙に笑顔で喜ぶ邦雄さん、順子さん

がら活躍しています。

コンバインドとの出会い
加藤選手は和寒町字西和で育ち、兄、弟、妹の4人兄弟といった環境で育ちました。兄の影響を受けて小学4年生のときに少年団に入部。以来中学校では、3年生のときに全道中学スキー大会のコンバインド競技で全道優勝し、全国大会へ出場。その後数多くのジャンプ選手が育つた下川商業高校に入学。全道・全国大会で活躍したのはもちろんのこと、この頃から世界大会での活躍も見られるようになりました。高校卒業後は、サッポロノルディッククラブに入社し、現在まで世界中を転戦しな

「ご両親の自宅では祝金メダルの一報が報じられる前から、加藤選手の実家である加藤邦雄さん、順子さんの自宅では、その夜に放送されていた録画番組を見ていました。そんな時、加藤選手本人からの電話が直接実家にかかってきました。しかし、本人は金メダルを獲得したことを一言も言わず、最後まで録画放送を見てほしいとだけ告げ、電話を切りました。邦雄さんは「今思うと、電話の向こうでは、にやけていたのでは」とその時を振り返ります。

録画放送の後半
距離競技では第2走を走った大平さんにリレーが繋がり、5チームでのデットヒートが繰り広げられていました。そして、日本チームのアンカー小林さんが大逆転での金メダルを獲得。テレビには、金メダルを獲得した大平さんの姿がありました。

邦雄さん、順子さんは大変驚いたといえます。翌日には、お祝いの言葉や取材などの電話が朝から鳴り響きました。

各新聞社の取材に対し邦雄さんは「感無量。この競技をやらせてよかった。同じ競技をしている兄と弟の夢をかなえてくれた。オリンピックに弾みがつく。支えてくれた人たちにお陰。再会したら息子の手からメダルをかけて欲しい」と、また順子さんは「信じられない。まさか金をとるとは。おめでとう、おつかれさんと言っておきたい」と大平さんの活躍に笑顔で答えていました。

「まだ若いので、これからもどんどん活躍してほしい」と今後の活躍に期待を寄せていました。



西和小学校のスキー大会で初めてジャンプを飛んだ加藤大平さん

中学時代の指導者から
中学時代のコーチを務めていた栗山本幸さんは朝5時頃の二コースでこの快挙を知りました。早速、加藤さんの自宅に祝福の電話をかけました。加藤さんの自宅にかかってきた電話は栗山さんが一番だったといえます。

スキー協会会長から
現在、スキー協会会長を務める塚崎正さんは、少年団入部時から加藤選手の活躍を目にしてきました。

栗山さんは「おとなしい子だった。が地道に自分のペースで練習し、中学3年の全道大会で優勝してから成長した。何と言っておけばいいかわからないくらいうれしい。ワックスの影響など毎回いいコンディションで望めるものでもない。支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れ

塚崎さんは「西和からの送り迎えなどご両親の苦労と理解があつてこそその結果。指導者の指導をまじめに受けていたのが印象的。加藤選手はどちらかというとジャンプが得意な選手ではあるが、距離でも相当努力して練習した成果が表れたのではない。今後、ジャンプ・距離競技に一層磨きをかけ、基礎体力をしっかりとつけて、今後のバンクーバーオリンピックなどでの活躍を期待したい」と期待を寄せていました。